

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2003-162014 (P2003-162014A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 6 日 (2003.6.6)
 【出願番号】特願 2001-362800 (P2001-362800)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 27/54
 G 0 3 G 15/00
 H 0 4 N 1/028
 H 0 4 N 1/04

【F I】

G 0 3 B 27/54 A
 G 0 3 G 15/00 1 0 7
 H 0 4 N 1/028 A
 H 0 4 N 1/04 1 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 11 月 9 日 (2004.11.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

画像が記録された原稿を 1 枚ずつ、所定の読取位置を経由する搬送路を自動搬送する自動原稿送り機構と、

前記読取位置を通過する原稿に光を照射する光源と、

前記原稿が前記読取位置を通過する際に該原稿から反射した光像を受像して画像信号に変換する受像センサと、

前記原稿が 1 枚ずつ前記読取位置を通過するタイミングに合わせて、1 枚の原稿が読取位置を通過している途中と、該読取位置を 1 枚の原稿が通過後次の原稿が読取位置に達する前とで前記光源から放射される光の強度を変化させる光強度制御手段とを備えたことを特徴とする画像読取装置。

【請求項 2】

前記受像センサは、白黒画像とカラー画像との双方が受光可能なものであって、前記原稿を、白黒画像が記録されている原稿とカラー画像が記録されている原稿とに判別する判別手段を備え、

前記光強度制御手段は、前記判別手段による判別結果に応じて、前記原稿が前記読取位置を通過している途中の光の強度を変化させるものであることを特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記光強度制御手段は、前記光源を点滅させることにより、前記読取位置に照射させる光の強度を変化させるものであることを特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 4】

前記光源は複数のランプを有するものであって、

前記光強度制御手段は、前記複数のランプのうちの少なくとも 1 つのランプを点滅させることにより、前記読取位置に照射させる光の強度を変化させるものであることを特徴と

する請求項 1 又は 2 記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記読取位置近傍を冷却する冷却ファンと、
前記原稿が 1 枚ずつ前記読取位置を通過するタイミングに合わせて、前記冷却ファンを
、1 枚の原稿が読取位置を通過している途中では停止させ、該読取位置を 1 枚の原稿が通
過後次の原稿が読取位置に達する前は回転させる冷却ファン制御手段を備えたことを特徴
とする請求項 1 記載の画像読取装置。